

【音がく】<sup>ばそこん</sup>パソコンなどで、みたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。

＜べんきょうすること＞

◆はるのようすや、かしがあらわすようすをおもいうかべながら、『はるがきた』（きょうかしよ 68～69 ページ）をうたいましょう。

(1) 『はるがきた』のかしをよみましょう。おもいうかべたことやかんじたことを、おうちの人にはなしてみましよう。

(2) 『はるがきた』をききましょう。



(3) はるのようすをおもいうかべながら『はるがきた』をうたいましょう。

(4) うたえるようになったら、からだをうごかしながらうたってみましよう。どうがを見ながら、1ばんをいっしょにやってみましよう。



◆『ずいずいずっころばし』（きょうかしよ 58 ページ）をきいたりうたったりしてあそびましよう。

(1) 『ずいずいずっころばし』をききましょう。



(2) 『ずいずいずっころばし』のあそび方を、どうがで見たしかめましよう。

(3) うたいながらおうちの人とあそんでみましよう。



＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

・『はるがきた』は、春の様子を思い浮かべて、明るくのびのびとした歌声で歌うことが大切です。また、同じ言葉が繰り返されていることや、1・2・3番の歌詞に共通していることなどにお子さんが気付いた際には、大いにほめてあげてください。春の様子を思い浮かべる際には、挿絵を参考にしたり、近所にある自然や散歩に出かけた時のことなどを思い出せるように声かけしてあげたりすると効果的です。

・『はるがきた』にはパートナーソング『はるのまきば』（72 ページ）があります。歌詞を「ランラン」などに変えて、『はるがきた』と重ねて歌うことができます。



・かぞえうたや手遊びうたは、楽しく遊びながら日本の音階に親しむことのできるものです。『ずいずいずっころばし』は、ぜひお子様と一緒にあそんでみてください。